

令和3年12月9日(木) 中国新聞

## 宮島フェリー 避難訓練

### 中学生も参加 不審物の発見想定

JR西日本宮島フェリー(廿日市市)は8日、同市宮島と宮島口を結ぶカーフェリー「みやじま丸」(254トン)で不審物が見つかった場合を想定した訓練をした。初詣客が多い正月を前に、関係機関が連携を確認した。

同社や広島海上保安部、宮島消防署など11機関の約80人が参加。運航中にエンジンルームで不審物が爆発したと想定し、船員が乗客役の宮島中の生徒たちに救命胴衣の着用を促し、救助に駆け付けた小型旅客船に移り乗るよう誘導した。重傷者に見立てたマネキンを使った救命措置もして、消防署員が消防艇に運び込んだ。

10月に東京の京王線特急で乗客刺傷事件が



小型旅客船へ逃げ込む乗客役の生徒

起きるなど、公共交通機関内での防犯対策が課題となっている。宮島フェリーの大野泰弘社長(55)は「海に囲まれたフェリーにとっても大きな課題。乗客の安全を守るため気を引き締めていく」と話した。(八百村耕平)